

H22.4.3.(土)

ICU増床し機能強化

安佐市民
病院 医師や看護師も増員

広島市安佐北区の市立安佐市民病院が、集中治療室（ICU）を拡充する改修工事を終え、本格運用を始めた。4床から8床に増床し、機能強化を図る。

改修は2月1日に着手し、スペースを約2倍の225平方メートルに広げた。増床分のベッド4床や、患者監視モニターを配備した。

担当する集中治療部の医師を6人から11人に、看護師も17人増の32人に増員。24時間体制で呼吸、循環器などの急性機能不全の患者や、重篤な救急患者を集中治療する。

ICUは1992年に4床で開設した。同病院によると、2008年度の1日平均患者数は3・9人で、利用率92・5%とフル稼働

状態。大きな手術の場合には5、6日間、ICUでの治療が必要だが、3日間程度で一般病棟に移るケースもあったという。

集中治療部の世良昭彦主任部長(50)は「術後の不安定な時期などに、より充実した態勢で対応できるようなになった」と話している。

(有岡英俊)